2025年度　北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 【科目】	〔地歴科〕 【日本史探究】	2年	3単位	教科書	詳説日本史	副教材等	図説日本史図録	履修対象・ 使用教室　等	グロリアコース
教科・科目の目標	（1）　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，　社会に見られる課題の解決に向けて構想したりするカや，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める								

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史に関わる諸事象について,地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに,諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価方法	
	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い，〔A:「十分満足できる」状況　B:「概ね満足できる」状況　C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて，学習全体の総括的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。

評価資料・評価比重〔100点換算〕	評価資料等	予定回数・内容等	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	歴史用語テスト	79回	20		80
	単元テスト	12回	60	70	
	授業参加	毎時間	10	20	10
	その他提出物	都度	10	10	10
	〔観点別配分%〕	（３観点の比重を%で示しています）			

月進行〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当時間〔計画〕	学習内容・目標（到達点）　など	主な評価資料	評価の重み付け〔◎〇〕 知・技	思・判・表	態度
4 5	第１章　日本文化のあけぼの 第２章　古墳とヤマト政権 第３章　律令国家の形成 第４章　貴族政治の展開	18	■日本列島における旧石器・縄文・弥生の時代の社会を理解する。■打製石器・磨製石器・縄文土器・弥生土器の発掘、竪穴住居の状況などを理解する。■中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権（倭国）と中国・朝鮮半島の諸国との交流について理解する。■古墳時代の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。■律令に基づく国内統治体制について理解する。■平安前期を中心とした古代国家の推移について理解する。■藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について理解する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○
6 7	第４章　貴族政治の展開 第５章　院政と武士の躍進 第６章　武家政権の成立 第７章　武家社会の成長	20	■摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるか理解する。■地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について理解する。■院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。■平氏政権の特性について理解する。■鎌倉幕府東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。■承久の乱にともなう、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。■モンゴル来襲による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○
8 9	第７章　武家社会の成長 第８章　近世の幕開け	12	■南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について理解する。■琉球・蝦夷ケ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。■諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。■応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連付けて理解する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○
10 11	第８章　近世の幕開け 第９章　幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ	20	■大航海時代を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を理解する。■織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。■江戸時代の成立による幕藩体制おの確立過程を理解する。■鎖国政策が単なる対外貿易の遮断ではないコトを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について理解する。■17C後半～18C前半までの江戸幕府の安定期について理解する。■幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義を理解する。■日本の開国を、社会・経済面での変化と関わらせて理解する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○
12 1	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	15	■明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家統一過程を理解する。■欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。■大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。■第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。■ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展などの推移を、日本の立場に着目して理解する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○
2 3	第15章　恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	20	■戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。■日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折しいく過程を理解する。■日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至ル過程のいついて、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を理解する。■戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。■化学技術・産業の発展によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	歴史用語テスト	○		
				単元テスト	○	○	
				小テスト	○	○	
				授業参加	○	○	○
				その他提出物	○	○	○

学習のアドバイス	
	授業の前に必ず、歴史用語（日本史ターゲット）に取り組むコト。繰り返しの学習が、効果を生みます。